



平成28年8月8日

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所

『清水港で「みなとの役割」を学習！』

～大川小学校が清水港を体感～

1. 概要：

国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所では、「みなと」の学習を目的とした方たちに港内見学の対応など支援を行っています。

7月下旬に、静岡市立大川小学校の児童13名が、港の歴史や特徴、日本経済の屋台骨となる港の産業構造を現場で体感しながら学ぶ場として、清水港を訪れました。

当日は、清水港の概要説明に加え、船上から国際コンテナターミナルの荷役作業、港内の様々な物流機能やエネルギー関連施設、沖合の防波堤など港を構成する施設、港のにぎわい空間、富士山との景観に配慮した清水みなと色彩計画の取組成果など、清水港の多様な機能や特徴を体感しました。

この日は、地球深部探査船「ちきゅう」や海洋地球研究船「みらい」も間近でみることができ、種々の役割を持った船舶についても学習できました。

日常では見ることが難しい、清水港の施設や機能を間近で体感し、国民生活や産業活動、地域の貢献する賑わい・景観など、港の果たす多くの役割や重要性、魅力について理解を深めていました。

2. 見学場所・見学の様子 別紙

3. 日時・場所

平成28年7月22日(金) 静岡市立大川小学校 児童 13名

国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所及び清水港内(船上)

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、静岡県政記者クラブ、静岡市政記者室、
港湾空港タイムス、港湾新聞、日本海事新聞、海事プレス

5. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局 清水港湾事務所 企画調整課 堀池(ほりいけ)、坪倉(つぼくら)

Tel 054-352-4148 Fax 054-353-3072

別紙

○見学場所(海上)

清水港視察コース(海上)：約50分



《清水港概要説明の様子》



《船による港内見学の様子(ちきゅう号)》

【参加者の感想】

- 私は、話を聞いて防波堤があることで波があっても揺れなくて安心できるということが分かりました。
- 航路があるのとないのでは、あるほうが大きい船の通行が安全というのが分かりました。
- 「みらい」という船が見れてよかったです。
- 航路があることによって、大きい船の通行が安全になることが分かりました。海でも陸のように安全になるようなことをしているのだと知りました。
- フェンスや警備員がいることでテロリストが入れなくなって、事件が起こらないで安全なの分かりました。